

報道機関各位

平成23年3月24日
秋田県健康福祉部健康推進課
健康危機管理・疾病対策班
電話018-860-1424

麻しん（はしか）患者の発生について

平成23年3月22日、能代市内の医療機関から能代保健所に、麻しん発生の届出があり、健康環境センターによる詳細検査の結果、本日、麻しんであることが確定したので、公表します。

1 届出等

届出状況等は次のとおりです。

- ・年齢：30歳
- ・性別：女性
- ・住所：能代市

2 患者状況等

- ・発症月日：3月15日（39度台の発熱）
- ・初診月日：3月16日
- ・発疹出現日：3月22日
- ・検査結果判明日：3月24日

なお、患者は3月22日に入院し、重症化はしていませんが、3月24日現在も入院中です。

3 調査の状況

能代保健所で、患者家族（本人含め3人）及び勤務先の職員等の健康調査を実施した結果、3月24日現在、症状のある者はありません。

また、今後、発熱等の症状が現れた場合の対応等、接触者への健康指導を実施し、健康観察を依頼しています。

○参考

<麻しんの発生状況>

- ・県内における届出件数
平成23年：1件（今回報告分）
平成22年：0件、平成21年：0件、平成20年：158件

（裏面に続く）

・全国の発生状況

平成23年：69件（3月16日現在）

平成22年：455件、平成21年：739件、平成20年：11,015件

<麻しんについて>

麻しんウイルスによる感染症で、重症化し、入院が必要になる場合もある疾患です。

(1) 感染経路：空気感染

(2) 潜伏期：10～12日

(3) 症状等：麻しんの初期症状は発熱、咳、鼻水などかぜと似ています。

患者は、発病1～2日前（発疹出現の3～5日前）から発疹出現後4～5日後まで、他の人に感染させることがあると言われています。

感染力が非常に強いのが特徴で、発症者と同じ部屋にいただけで感染することがあります。

(4) 治療法：対症療法（脱水症状への輸液投与、呼吸機能管理等）

<県民の皆様へ>

・麻しんは、特に小児において重症化しやすい疾患です。発熱や発疹など、気になる症状が現れた場合には、早めに医療機関を受診してください。

・麻しんには特別な治療方法がありませんが、予防接種により免疫力を高めて予防することができます。

・定期予防接種対象者は早めに予防接種を受けるようにしましょう（詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください）。

※定期接種の対象年齢は次のとおりです。

第1期：1歳児

第2期：5～6歳児（小学校就学前の1年間）

第3期：中学1年生に相当する年齢の方（平成20年度～24年度までの5年間）

第4期：高校3年生に相当する年齢の方（平成20年度～24年度までの5年間）

・定期の対象でない方も接種可能ですので、麻しんに罹ったことのない方、2回の予防接種を実施していない方は、医療機関に相談してください。